

公益社団法人 私立大学情報教育協会  
第4回 歯学教育 FD/ICT 活用研究委員会 議事概要

I. 日 時 平成24年9月20日(木) 13:30~15:30  
場 所 公益社団法人 私立大学情報教育協会事務局会議室

II. 出席者 神原委員長、佐藤委員、森實アドバイザー、奥村アドバイザー  
(事務局 井端、森下、平田)

### III. 検討事項

これまでまとめてきた歯学教員の教育改善モデルの背景の最終的な見直しを行った他、前回課題となっていたモデルに挿入する図、表の確認を行った。

#### 1. 教育改善のモデルの背景

(1) 教育改善モデルの構築で配慮した点と、従来の歯科医療技術偏重の歯科医学教育から一歩踏み出した歯科医師を養成が避けられない旨の文章は重複があったので、「そこで、歯科疾患予防および・・・歯科医師を養成することが避けられなくなっている。」を削除した。

(2) モデルの到達目標としている歯学教育モデル・コア・カリキュラムの該当箇所と配慮した点が抜けていたため、以下の文章を追加した。

「このような背景から、歯学教育モデル・コア・カリキュラム『B-3-2 口腔疾患の予防と健康管理を理解する』を実現するための教育改善モデルの構築を試みた。その際に配慮したのは、口腔疾患予防・健康増進が人間の健康創造に重要であることを認識し、個人及び集団、地域及び地球規模で口腔の健康を考える態度を身につけ、さらに国民の口の健康に対する要求や社会の変化に対応できることを目指して、以下のような視点で考察した。」

#### 2. モデルへ挿入する図表について

(1) ライフステージにおける予防説明

図中の目標の説明などを法律との整合性など確認し修正する。

(2) 授業の仕組みの図

「学生」と特定せず、ネットでバーチャルスタディをPBLを通じて行うイメージを入れ、図を再構成する。

(3) PBL型学修の到達度評価シート

原案をもとに、対面やネットでのPBL学修の到達度評価シートとして、作成し直す。

### IV. 今後の検討スケジュール

今後のスケジュールは、委員会は開催せず、上記課題を9月末までに担当委員がメールで提出し、各委員で確認の上、モデルを完成させることを確認した。